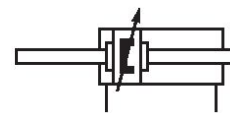


## AVENTICS ITS シリーズ タイロッドシリンダー (ISO 15552)

AVENTICS ITS シリーズ (ISO 15552) シリンダーは、非常に大きな負荷を効率的に移動し、使い慣れた操作のしやすさで制御する必要がある場合に最適です。ITS シリーズ (ISO 15552) シリンダーは、アプリケーションのニーズに合わせて簡単に構成できます。



### 技術データ

ブランド	産業
規格	ISO 15552
ピストン 径	250 mm
ストローク	25 mm
ポート	G 1
作動原則	ダブル動作
緩衝	空圧調節可能緩衝
電磁ピストン	マグネット付きピストン
環境条件	業界標準
	ATEX でオプション
ピストン棒ねじ - タイプ	雄ねじ
ピストン棒ねじ	M42x2
ピストン棒	貫通
スクレーパ	標準工業用スクレーパ
ピストン力を決める圧力	6,3 bar
ピストン力 入方向	29688 N
ピストン力 出方向	29688 N
最少周囲温度	-20 °C
最高周囲温度	80 °C
作動圧力 (最小)	1.5 bar
作動圧力の最大値	10 bar
緩衝長さ	56 mm
緩衝エネルギー	180 J
重量 0 mm ストローク	28.46 kg

重量 +10 mm ストローク	0.76 kg
ストローク 最大	1000 mm
中間	圧縮空気
最小の媒体温度	-20 °C
最大の媒体温度	80 °C
最大粒子サイズ	50 µm
圧縮空気のオイル含有量 最小	0 mg/m <sup>3</sup>
圧縮空気のオイル含有量 最大	5 mg/m <sup>3</sup>
磁界センサー用クランプ部品が必要です	磁界センサー用クランプ部品が必要です

## 材質

ピストン棒	ステンレススチール
スクレーパ材質	アクリルニトリル・ブタディエンゴム
材質 タイロッド	ステンレススチール
材質 ガスケット	アクリルニトリル・ブタディエンゴム
材質、フロントカバー	アルミニウム加圧鋳造
シリンダーチューブ	アルミニウム
エンドカバー	アルミニウム加圧鋳造
ピストン棒用ナット	スチール, クロムメッキ
マテリアル番号	R480627487

## 技術情報

II 2G Ex h IIC T4 Gb / II 2D Ex h IIIC T135°C Db\_X 標示のあるATEX認証シリンダーはインターネットコンフィギュレータで生成可能です。

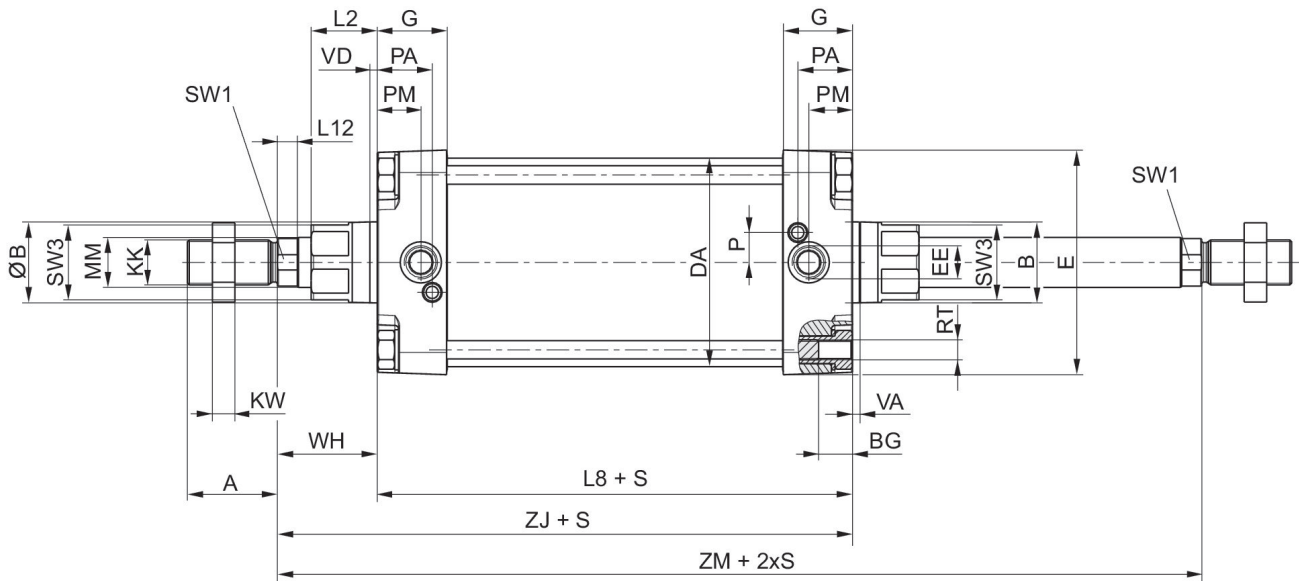
ATEX認定シリンダーの動作温度範囲は、-20°C ... 60°C.

圧力露点は、環境温度および媒体温度を最低 15 °C 下回る必要があります。最高温度は 3 °C です。

圧縮空気のオイル含有量は、寿命全体をとおして一定である必要があります。

AVENTICS が承認するオイルのみをお使いください。詳細は、「技術情報」という文書をご覧ください ( <https://www.emerson.com/en-us/support> にございます)。

## 寸法



S = ストローク

ピストン $\varnothing$	A	B	$\varnothing B$	BG	DA	E	EE	G	KK
160	72	65	65	24	167	180	G 3/4	56	M36x2
200	72	75	75	24	210	220	G 3/4	54	M36x2
250	84	90	90	25	262	280	G 1	59.5	M42x2
320	96	110	110	28	336	350	G 1	61.5	M48x2

ピストン $\varnothing$	KV	KW	L2	L8	L12	MM	P	PA	PM
160	55	18	53	180	16	40	24	45	35
200	55	18	56	180	16	40	22.5	42	30
250	65	21	67	200	20	50	29	46	32.8
320	75	24	76	220	23.25	63	30	48	37

# タイロッドシリンダー ISO 15552, シリーズ ITS

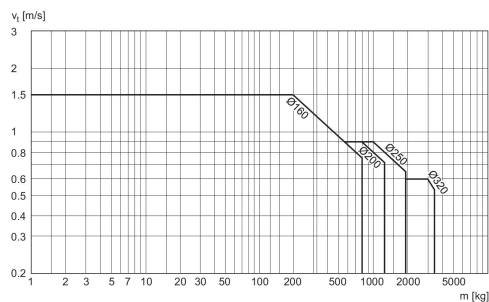
R480627487

シリーズ  
ITS

2024-04-06

ピストン ̢	RT	SW1	SW2	SW3	TG	VD	WH	ZJ	ZM
160	M16	36	27	60	140	6	80	260	340
200	M16	36	27	60	175	6	95	275	370
250	M20	46	41	80	220	31	105	305.3	411
320	M24	55	50	95	270	34	120	340.5	462

## 緩衝図表



v = ピストン速度 [m/s] m = 緩衝可能質量 [kg]

## 外観図



ヒント: この外観図は、さまざまなアクセサリ部品がシリンダーのどこに固定可能かを示しています。この目的で図は簡略化されています。このため、同じ寸法の誘導体は認められません。